

ガイドから体験、雑誌・ソーシャルメディアまで

伝統工芸の魅力の伝え方！

京都の工芸品は、
その歴史や技術の高さにより多方面から注目を集める反面、
消費の低迷などの課題に直面しています。
一方で趣旨や想いに併せて、消費者心理をつかみ、独自の手法で情報発信を手掛ける人がいます。
今回のシンポジウムでは、様々な方面で情報発信を手掛ける方をパネリストに招き、
工芸品の情報発信や消費者ニーズ、観光における工芸品のマーケットなど、
工芸品市場の展望まで掘り下げて議論します。

日時： 9 / 16 (金) 14:00～16:00

会場： 京都商工会議所 講堂(3階) 地下鉄烏丸線丸太町駅
6番出口下車すぐ

パネリスト	田中 峰子	氏	富田屋十三代目
	玉置 泰紀	氏	関西ウォーカー編集長
	若村 亮	氏	株式会社らくたび 代表取締役
コーディネーター	佐藤 弘樹	氏	α-Station エフエム京都パーソナリティ

参加費： 無料

定員： 200名

主催： 京都商工会議所 工芸産業振興特別委員会

お申込： FAX、またはホームページからお申し込みください。

FAX： 075-255-0428

H P： 京都商工会議所 イベント・セミナー情報

http://www.kyo.or.jp/kyoto/ac/event_092436.html

問合せ： 京都商工会議所 産業振興部 泉谷 Tel： 075-212-6453

第6回 京都美風シンポジウム申込用紙 (FAX:075-255-0428)

御社名

TEL

FAX

参加者名

参加者名

参加者名

伝統を受け継ぐ者としての情報発信

田中 峰子 氏

国立大阪教育大学教育部卒。教員免許、図書館司書免許取得。
1988年、株式会社富田屋社長に就任し、富田屋篠兵衛13代目を受け継ぐ。伝統を守るため、着物を通して日本人の心を伝える講演活動を全国で行っている。大学での講義の他、カナダやロンドンでの講演実績もある。

西陣くらしの美術館 富田屋 代表取締役社長
(着物マナースクール) 古都の風 和道会 学院長



玉置泰紀 氏

紙面から地域の情報発信

同志社大学卒業後、産経新聞大阪本社に入社。神戸支局を皮切りに、社会部で所轄回りの後、大阪府警本部捜査1課を担当。7年間勤務の後、福武書店（現ベネッセ）に転職。月刊の女性誌「カルディエ」の創刊に加わる。「たまごクラブ」「ひよこクラブ」の準備に携わった後、角川書店に再転職。東京版の「シュシュ」創刊に加わる。

九州ウォーカー創刊、後に同誌編集長、さらに東海ウォーカー、大人のウォーカー（こちらも創刊）の編集長を経て、2008年4月、17年ぶりに関西に戻り、現在に至る。

京都の魅力をツアーや本で発信！

若村 亮 氏

立命館大学理工学部機械工学科卒業後、2006年4月に(株)らくたびを創立。京都に特化した事業経営を行い、『らくたび文庫』など京都関連書籍の企画・編集・執筆や、旅行企画プロデュース、京都伝統工芸大学校や学習院などの各種大学や社会人講座の京都学講師、ラジオ番組のレギュラー出演など、多彩な京都の魅力を全国に発信している。



<コーディネーター>ラジオからの情報発信

佐藤 弘樹 氏

α-Station エフエム京都パーソナリティ。京都外国語大学卒業後、英語教師として活躍。1991年に開局したα-Stationの「ENGLISH HEADLINE NEWS」キャスターを務めた後、1993年から「α-MORNING KYOTO」の2代目パーソナリティに就任。独特のバリトンボイスで現在もなお続く長寿番組の顔として親しまれている。その傍ら、母校の非常勤講師や関西を中心に講演を行っている。